

2018 年度 美術パート総括

【活動報告】

① 会場装飾 及び 劇中大道具・小道具

作業は 5/20、26、6/2、10、16 に分けて行い、完全シフト制としました。パート員が決まってすぐに参加希望日程を聞き、それにおおよそ沿うような形でシフトを作りました。パ長の負担は増えますが、パート員からありがたかったと声が多くありました。ドタキャンも少なかったと思います。最初からその日に来る人数が決まっている分、何をやるのか予定も立てやすかったです。ただ、ベッドについて、他パートも含め同期との連携がうまく取れていなかったことで、何より私が確認を怠ったことであれだけ多くの経費を使い 1 年生も尽力してくれたものを壊さなければならなかったのは本当に心苦しかったです。他小道具（カーテンや記憶装置など）に関しては私のワンマンプレーに終わってしまい、パ長として反省いたしました。（このことについては後述します。）

場内の装飾品については、高評価をうけました。段ボールを一つ一つ細かく切り、色を塗り、汚し塗をするという目と腰と腕が痛くなる作業を 50 枚近くやって下さったパート員の力の賜物だと思っています。ありがとうございました。

② パンフレット

プリントバックでリーフレットチラシ、両面 4 色、A4、コート 90 で 200 部注文しました。前日リハの際集まってくれたパート員とともにすべて手作業で折りました。デザインは Twitter 宣伝用一枚絵として書いてもらった枝松のリンゴの砂時計を軸に、モノクロなイメージと会場装飾にも多く使った歯車のイメージを残しつつ、舞台となる病室を背景にすることで、この「不可逆」というテーマ、この番発で表現したかったものが観客に伝わればと思い作成しました。りんごの砂時計は想像以上の高評価をいただき良かったです。枝松に感謝しています。イラレやらフォトショやら教えてくれ、素材を提供してくれた佐伯にも感謝しています。ありがとうございました。

私の期日チェックミスで、私が入稿まですることが出来なかったので入稿のみ委員長に任せました。去年は折パンフレットで入稿していましたが、今年は間違えてリーフレットチラシでの入稿になり一時はどうなることかと思いましたが、完成品も何も問題がなく本当に良かったです。来年もこれでいいのではないのでしょうか。引継ぎの時にしっかり話そうと思います。

③ リアクションペーパー（モニシ）

220 部印刷しました。パンフレット同様、前日リハの日に手作業で折り、パンフレットの間に挟み込みました。マニファクチュアとはこういうことだなと話ながらパート員とともに作業を行いましたが 20 分弱で終わられたので、この作業は無駄に追加オプションとして業者に頼むより良いのではないかなと感じました。しかし、そう思えるのも

一緒に作業してくれたパート員の皆様のおかげです。ありがとうございました。

④ Twitter 宣伝用一枚絵

枝松に頼みました。斬新なアイデアで、皆様にも高評価で本当に良かったです。粘り続けて良かったです。

⑤ CM 作成

パート員が途中から増えたこともあり、もともと CM 作成はすべて制作パートの仕事でしたが、その業務の一部を委託していただきました。5/26 に話し合いを活動時間中に行い、期日だけ 6/6 と定め、撮影はその日活動に来ていたパート員にお任せしました。6/14 に副委員長に指摘されるまで CM をちゃんと提出したか、確認することを完全に忘れており、twitter で宣伝するのが遅くなってしまいました。申し訳なかったです。

⑥ T シャツ作成

デザインは時計をモチーフにしてほしいという要望のみ伝え太田に作っていただきました。こちらもすごく高評価で、ありがとうございました。入稿は T シャツゼロワンに直接おもむき、店員さんともに細かく決めました。(店員さんがものすごく優しいので、実際お店に行って色々決めることを引継ぎの時にもおすすめしようと思います。)その後再度ファックスにて修正版を入稿し、本番前日にお店にパート員 3 人と一緒に取りに行きました。最初から少し余分に注文したことで、後からの急な注文願いにも対応できて良かったです。

⑦ 渉外はがき及び OB はがき作成

Word にて私がデザイン作成後、副委員長に宛名及びデザインの印刷をお願いしました。丁度友人がインスタで不可逆な印象をもつ写真を投稿しており、本人から直接写真をいただきました。タイミングが良かったなと心の底から思いました。

⑧ 当日の誘導・受付・案内

美術パート員と一部の制作パート員と行いました。お手伝いくださった制作パートの皆様ありがとうございました。おかげさまで御茶ノ水駅、神保町駅、リバティタワー前、一階と十分に誘導人をおくことができました。今のところ当日の会場場所が分かりにくかったという声は私のもとに届いてないので、良かったのではないのでしょうか。誘導用のプラカードは 9 枚分 5/20、26 に制作しました。受付では私を含め 4 人でその場に立ち行いましたが不測の事態(後述)により、私がまともに説明できないまま受付と案内を行うことになってしまって申し訳なかったです。

開場で仕事のない人でも休憩時間になら出入りしてもいいという指示のもと今回は行

いましたが、委員長が後半にもういいよと指示があったので後半の出入りに関しては緩かったのではないのでしょうか。

前もって当日もシフトを組んでいたのですが、当日無断欠席する人が現れるという不測の事態や、開場時間が遅れ、休憩時間も伸びるなど様々な想定外のことが起きました。私自身が瞬間的にパニックになってしまったのですが、そんな時しっかり支えてくれた1年生には本当に感謝しかないです。

【まとめ】

当日はOB、OG、3,4年生を含め117人がご来場くださいました。リアクションペーパーで会場装飾について高評価をいただいております。パート員に3部全部見てきていいよ、と言ったときのみんなの嬉しそうな顔は最高の笑顔でした。やっぱり、本番は生で見たいですね。その所をもっとくみ取ってあげたかったと思いますが、これが限界だったなというのが本音です。

反省点は多くありましたが、主に以下の事があげられると思います。

- ・ペントブを接続するか否かで時間かけすぎた
- ・パンフレット入稿日をあらかじめ細かく設定して置くべきだった
- ・私自身が会場の下見にメジャーをもって早々に行くべきだった
- ・会場を様々な角度から撮っておくべきだった
- ・CMに限らず期日の日には任せた人に確認すべきだった
- ・他パートと全体LINEで共有すべきだった

特に最後については本当に心の底から感じています。何度も他パート長と話がかみ合わなかったり、変更事項が上手く伝わってこなかったり、Boxで鉢合わせしてしまい上手く活動できなかったりと、美術パートでの活動全体として弊害はかなりあったと思います。私自身がパ長としての仕事は何なのかしっかりと考えられていなかったため、もっとしつこいようでも他パートに呼びかけるべきでした。

今回自分でできることはすべて自分でして、手が回らないことパート員に任せるという手段をとりましたが、それでは行き当たりばったりな結果しか出ないと反省しました。他人に任せていい仕事と自分でやらなければならない大事な仕事とをあらかじめ定めておき、重要度の高いものこそ自分で行うべきであったと思います。(もう少し自分への負担を減らしその分時間を空けられればそれも可能だったでしょう。)

昨年の美術宣伝パートから業務は減らしたつもりでしたが、実際はTwitterの更新と打ち上げ場所を(打ち上げ場所は委員長から先輩方にお任せすることになりましたが)委員長が、渉外はがきを副委員長と分担し、それ以外は美術パートが請け負いました。今年は、劇中大道具・小道具の作成も新しい試みとして行いました。結果、名前が美術パートとなっただけで内容は昨年の美宣とほとんど変わらなかったように思います。私は今年の美術パートの仕事量でしたら、来年も最初から計画を立てそれに沿ってやっていけば問題はない

と思います。もし不安でしたら来年は美術部門と宣伝部門にそれぞれチーフを立てるのもありだと思います。ただ、そうした場合、美術部門と宣伝部門で情報を常に共有している必要もあると思うので、なかなか難しいような気はします。

既述の通り今年も仕事が多く、パート員の負担がというよりパート長が請け負う業務、責任が多かったと思います。それでも、特に私がキャパオーバーせずやれたのはパート員の力によるところが大きかったです。本当にありがとうございました。

文責 藤田 実樹